

会 議 録

審議会等名	平成 25 年度 第 2 回三条市文化芸術振興に関する懇談会		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成 26 年 3 月 19 日（水） 午後 2 時～午後 4 時 10 分		
開催場所	中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	無
		報道機関	無
出席者氏名	委 員 阿部涼子委員、花柳雅鶴委員、田村和豊委員、櫻井綾委員、 大原貞雄委員、樋山利浩委員、鶴巻純子委員 三条市 金子生涯学習課長、渡辺文化振興係長 (欠席者) 岡村守委員、金子達雄委員、藤田務委員		
協議題	(1) 平成 25 年度文化芸術振興事業実施状況について (2) 平成 26 年度文化芸術振興事業計画（案）について (3) その他		
金子課長	あいさつ		
阿部会長	議題（1）について説明をお願いします。		
金子課長	（平成 25 年度文化芸術振興事業実施状況について説明）		
阿部会長	芸術鑑賞ツアーは、三条市に文化会館等の施設がなく一流の芸術に触れる機会が少ないことから、文化振興基金を使って実施するものと認識しているが、今年度実施した中で、益子の陶芸など趣味性の強いものは、ツアーとしてどうかという思いがある。今後企画する際に検討してほしい。		
金子課長	来年度のツアーを現在計画中ですのでご意見を踏まえて参りたい。		
田村委員	楽音祭の入場者数について、24 年度 3,600 人、25 年度 2,000 人と極端に減少している理由は。初めて見に行った印象として、一般のお客さんより店や運営関係者の人が多いように感じたが出店数は。		
金子課長	手元に資料がないので正確ではないが出店は 30 店位だった。会場へは市のマイクロバス 7 台でシャトル運行した人数を参考に主催者の楽音祭実行委員会が入場者数を発表した。半減している要因としては、今年度は雨天だったことが影響しているものと思う。		
田村委員	客席は 100 人程度しか入らない非常に狭い印象だった。狭さと雨天に左右されるようなイベントはどうかという疑問がある。市の予算が入っているものなので、三条市の文化芸術の振興に資するものかどうか事業を検証していく必要があるのではないか。文化庁の次代を担う子どもの		

	文化芸術体験事業、東京フィルではなく遠いところの関西フィルを選んだ理由は。
金子課長	文化庁の事業で演奏団体等はプログラム化されているもの。文化庁からの案内を県と市を經由して小中学校へ投げかけ、希望する学校が応募するもので、25年度は県内で5校だった。一つの県で1校だけだと効率が悪いので複数校から希望があるところに来てくれる。文化庁ほど規模は大きくはないが、県の事業でも巡回公演を実施しており、26年度は大崎小学校で山形交響楽団を予定している。
大原委員	60数名のオーケストラをお迎えし、体育館の半分を使っていた。一流の演奏はもちろん子供が指揮者体験を行うなど非常に良い体験をさせていただいた。
田村委員	新潟市の「りゅーとぴあ」では市の中学生を集めて楽団を鑑賞させたりしている。三条市に施設がないのは残念だ。三条市と燕市が合併しないまでも広域的な運営ができないものかと思っている。
阿部会長	議題（2）について説明をお願いします。
金子課長	（平成26年度文化芸術振興事業計画（案）について説明）
渡辺係長	（平成26年度文化芸術の一番星育成事業実施要項（案）について説明）
阿部会長	議題（1）の田村委員の発言に関して、楽音祭はこれまで5回開催した。いつまでも三条市が共催ということではなく、実行委員会が完全に自立し、市は後援という形で実施できるよう見直しを進めてもらいたい。という趣旨であったかと思うので検討をお願いしたい。
阿部会長	わくわく文化未来塾は、子どもたちが楽しんでやっているので、今後も続けてほしいと思うがいかがですか。（各委員賛同）
阿部会長	以前、染色のセミプロのような人が東公民館を使用した際に、こっそり物販をしていたという話を聞いたことがある。公民館は営利目的の物販はできないことになっている。私たちの主催でもある若手芸術家支援事業の実施に際しては、「みんくる」は物販可能のようですが、公民館では慎重にお願いしたい。
花柳委員	公民館でのコンサートでCD等の販売をしているがこれはどうなのか。
金子課長	中央公民館は文化会館的な役割も担っていますので、音楽公演や講演会の主催者が、その付随としてCDや本を販売することを認めています。販売のみは認めていません。
阿部会長	美術の展示物の方は、無料で見てもらい商品の販売ができない一方、演劇や音楽関係は入場料を取り、関連商品を売ることが可能な理由は。

金子課長	どこで一線を引くのか解釈の部分となるが、例えば営利目的ではない団体が展覧会を開催し、チャリティで販売、ほしい人への販売などがいいのかどうかは各自治体によって見解が分かれていると思う。今後きちんと検討しなければならないと思う。
阿部会長	文化芸術の一番星育成事業について、ご質問ご意見をお願いしたい。文化芸術の一番星育成事業費の予算額 390 万円の根拠はどうか。
金子課長	26年度初めて取り組むもので予算は見込額であり、要望が多ければ27年度以降、増額要望したい。
阿部会長	この懇談会に選考委員会を設置するとあるが、各委員はそれぞれ分野が違っているので、選考委員は懇談会委員10名全員からなってもらいたいと思うので、皆さんそのつもりでお考え下さい。
田村委員	しかけ絵本を突然出てきた理由は。
金子課長	しかけ絵本は、市の職員の例月政策会議で企画、市長に提案し採択され生涯学習課が取り組むことになったので、ご紹介させていただいた。
田村委員	しかけ絵本、ピアノ、デッサン教室もそうだが、内部から出た政策であれば、市民ニーズとミスマッチしているのではないか。一番星になるには東京へ出て行くしかないと思うが、予算内でどの程度の先生から来てもらおうと考えているのか。予算の内訳を聞かせて欲しい。
渡辺係長	ピアノ・デッサン教室は、各教室100万円で200万円、内訳として定期講習1回につき5万円、夏季と冬季講習は1回につき10万円です。実力アップ支援事業は、年額で補助金12万円、5名募集で60万円です。ジュニア育成団体支援は、基本補助5万円に人数割補助が最大で20万円、計25万円を限度とし、4団体募集で100万円、芸術鑑賞体験事業支援として補助金が10万円、補助金以外の支援で20万円、計390万円です。
阿部会長	本当に一番星育成に取り組む意気込があり、その成果を出したいのであれば、まずは音楽だけをやってみてもいいのでは。 実力アップ支援事業とジュニア育成団体支援は大変良いと思う。指導者として学校の先生は対象になるのか。
渡辺係長	三条市が同じ市の中学校に補助金を出すことは適当ではないので、学校の保護者等で構成する団体、わかりやすい例としてPTAなどが外部から専門の指導者を招聘して育成する場合が対象となる。学校の先生も優秀かと思うが先生が指導する範囲ではお金はかからないと思う。
阿部会長	ピアノ・デッサン教室について、少しでも受講料をもらうべきと思う。
金子課長	学力向上の教室と合わせたいと思う。

花柳委員	芸術もスポーツでもお金を使うからこそ身に付いていくものである。行政が支援していく姿勢は良いと思うが、タダで育ててもらって身につくことは絶対に有り得ないし、そういう根本的なことも教えていかないと一番星なんか育たない。
阿部会長	東京へ習いに行ったとしても簡単に一番星になれるわけではない。税金を使って支援するからには、相当優秀な子でなければならない。一番星事業で社会教育施設を使用した場合、今まで使っていた方達が使えなくなると心配している。ピアノ教室はピアノがある公民館を会場としてもいいと思うが、学力を含めた他の一番星の会場は、学校開放施設の活用を検討いただきたい。
鶴巻委員	美大を目指す子は、中学生から夜間の予備校へ行くケースが多い。美大の入学はものすごく厳しい。提案内容だけでは、どんな優秀な指導者であったとしても、美大を目指すものではないと思う。別の支援を検討してみてもどうか。
阿部会長	中学生は下手すると遊びにきて終わる。対象者は美大を目指している高校生だけでいいのでは。
櫻井委員	私自身、大学は声楽でしたが、どんな科目を受けるにもピアノの試験は必須です。ピアノは楽器の中で一番需用が多く一番早く触れる楽器です。私も芸大を目指している中学生を教えているが、ピアノは他の楽器に比べて早い時期から芸術系大学に進学を希望する子が多いように思う。ピアノに関しては県央地区に優秀な先生が非常に多く、新潟県の音楽コンクールで実績を上げている先生が多い。ピアノに関しては支援の対象は小学生からでもいいと思う。一方、中央高校の存在がある。中央高校へ行けば入試に必要な全てを習うことができるので、お金をかけずに学校の授業だけで音楽大学に入れる可能性がある。中央高校の先生に習って、一番星は別の先生となると言い方は悪いが生徒の奪い合いになる可能性もある。講師の選考に当たっては、下手に県内講師に手を出すのではなく県外講師や滅多に会えない先生とかも考えてはどうかと思うが、県外からだとな旅費もかかるので、この予算では県内から選ばざるを得ないと思う。要項に夏季講習、冬季講習とあるが、受験生は必ずそういう講習を受けているので、その日程を考慮し一番星の日程を組まなければならない。芸大を目指している子は小さい時から芸大の先生に習いに行ったりしている。無料というのは何かと負担の大きい親のことを考えれば、本当にありがたいことで私は無料で良いと思うが、そこには習った責任というものがあり、無料だから行けばいいというものではな

	い。
櫻井委員	ピアノは需用が多いのでマスタークラスを受ける機会、一流の先生から指導を受けられる機会も多い。音楽系大学に進学を希望している生徒は既に一流の先生の指導を受けていると思う。だから一番星だったら滅多に指導してもらえない先生から来てもらいたいという思いがある。
金子課長	実施要項案では、毎月1回、夏季講習3回、冬季講習2回とあるが、例えば夏休みに集中して中央から良い先生を呼ぶという方法もありか。
櫻井委員	講師によっては、それもありかと思うが、目標を持って目指している子はそれなりの先生に習っている子も多いと思う。
金子課長	一番星の教室は、既に地元あるいは東京に習いに行っている子を想定している。その先生の推薦書を持ってきてもらう。
櫻井委員	音楽大学へは行ってないけど、一流のコンクールで一番を取ってしまった子も沢山いる。声楽では歌が好きで独学でちょっと先生に習ったら一番取っちゃったなんて人もいるので、音楽大学へ行くことだけが道ではないが、入学は一つの指針だと思う。どの位希望者がいるかわからないが、私のように他の科を目指しているが、副科としてピアノが必須なのに、そこにはお金はかけられないという子はいるかもしれない。
金子課長	何科であっても音大の入試に必要なピアノ、美大の入試に必要なデッサン、その支援をしたいことから計画したもの。
櫻井委員	そうであれば、要項に副科も含むと明記した方がわかりやすい。
花柳委員	わくわく文化未来塾は、主に小中学生が対象となっている。一番星の支援期間が3年であれば、初年度としては成果がすぐ期待できる受験前の3年間、高校生を対象としてはどうか。その後状況は見て中学生以下に下ろしていったらどうか。
田村委員	一番星事業はそもそも唐突な事業である。新潟中央高校の問題として東京芸術大の合格者が少ない。小さい時からやっている子ほど偏っていて芸術性がないとか、権威で教育されている部分もあって、必ずしも芸術学校に入ったから芸術家になれるというものではない。先生を決めることも大事なことだが、人を集めて選考なんて大変なことだ。要望があって始めたことならいいが、何も無いのに一方的に企画して、人を集めるやり方、ちょっと乱暴ではないか。
阿部会長	もっと市民の芸術レベルが高ければ、放つといっても一番星が出てくるかもしれない。文化芸術の予算をちっとも増やしてくれない一方で、上だけ支援するというこの事業は間違っている気がする。教室開催ではなく、補助金支援のみとして、しばらく様子を見ていくやり方の方が取り

	組みやすい。
田村委員	結果どうなるか全くわからない者を支援するより、底辺を上げる支援に力を入れてほしい。PTA コーラスで指導者がほしいという相談を受けている。こういうニーズに対応してくれるなら有り難いが、ニーズもないのに、さあいませんかというやり方には馴染めない。
金子課長	ピアノ、デッサン教室については、煮詰まらないとスタートできないので、教室の持ち方などについて、ピアノは櫻井委員、デッサンは鶴巻委員、それぞれ個別にアドバイスをお受けたしたいと思いますので、よろしくをお願いします。
鶴巻委員	音楽同様、美術も講師選びが重要となる。自分が高校生だったらと思うとこういう企画があれば参加したくなると思う。
金子課長	参加したくなる講師を選んでもらいたい。
鶴巻委員	どういうふうになるかわからないが楽しみな企画である。
阿部会長	新潟市に美術の予備校があるのではないか。
鶴巻委員	美大へ入るための予備校が2～3校ある。
金子課長	学びの方は、そういう予備校にそのまま委託して、市の公共施設で実施する予定である。デッサン教室も予備校に委託して公民館で実施してもらう方法もある。
阿部会長	委託でその都度先生が変わるようでは無責任になってしまう。
金子課長	特定の講師をお願いするにしても、委託方式でやらせてもらいたい。予備校の話が出たので、学びの話をしたが講師選定は大学でもいいと思う。講師の選定に関しては学校の先生からもアドバイスをお願いしたいと思う。
大原委員	親としてもできる限り条件や環境のいい所で指導を受けさせてやりたいと思っていると思うので、すごく良いことだと思う。小学生の高学年も入れてもらいたいと思う。関西フィルハーモニー楽団の演奏を聞いた小学生が中学になったら吹奏楽部に入りたいという子も出てきた。やはり触れて底辺を上げる活動と特化した活動の両輪でやらないと一番星は出てこないと思う。
樋山委員	この春、芸大ではないけど美術系大学に合格しましたと中学に訪ねてきた子がいる。中学時代は美術部に入り、ジュニア展で特選を取った子で文春の表紙になった。スポーツや文化芸術の世界はやはり憧れがあって、その人に近づきたいという想いからだと思う。努力したいがその筋道がわからなかったり、ちょっとお金の方もといった事情もあるかもし

	れない。芸術は感性が必要だと思うが、でも進学するにはテクニックが必要で、そのテクニックとはどういう世界なのだろうかと、この事業はそれに気付くきっかけとなるのではないか。そんなことを感じた。
阿部会長	議題（3）その他 何かありませんか。
花柳委員	日本舞踊協会報の「学校教育における日本舞踊の活用について(要望)」を紹介
鶴巻委員	若手芸術家支援事業について、支援対象者は市在住でなくても出身であればいいのか。
金子課長	市在住、市出身どちらも対象です。
櫻井委員	三条市共催事業の予算は毎年いくら位か
金子課長	市の共催事業で、実行委員会を組織してもらって実施してもらう事業には予算を付けているが、主催者から依頼された事業には予算付けはしていない。市の施設を使用する場合、使用料は共催の場合は無料、後援は3割減となる。
阿部会長	先回の懇談会で要望したジュニア合唱団への市の補助金はどうなったか。また、減り続ける基金をどう増やしていくかその辺の考え方をお聞きしたい。
金子課長	ジュニア合唱団への補助金は、5万円の予算が付く予定です。文化振興基金は4年間使って約6,200万円の残金です。基金を増やしていく方法として市が募金活動を行うことはダメという見解もあったので、どうすれば呼びかけとして有効で、合法的なのか財務と詰めているところですのでお時間をいただきたい。
阿部会長	毎年、市から100万でも200万でもいいから基金へ繰入してほしい。公民館使用料の減免率が下がった分位は積んでほしい。
金子課長	文化団体協会等の団体が募金活動を行ってもらい、基金積立のために寄付してもらうことは問題ない。
阿部会長	閉会あいさつ